

## パラオ地区集落座談会 会議録

1. 会議名称 パラオ地区集落座談会
2. 開催日時 平成 27 年 5 月 29 日（金）午後 1 時から午後 2 時 30 分まで
3. 開催場所 久寺家近隣センター
4. 会議に出席した者の氏名

農業者	6 名
農業委員	1 名
柏市農政課	2 名
我孫子市農政課	2 名

5. 協議区域の範囲 パラオ集落（主に柏市の北新田地区）
6. 議題

テーマ「今後のパラオ地区の農業の方向性について」  
(1) 我孫子市の人・農地プラン策定の現状について  
(2) 柏市の人・農地プラン策定の現状について  
(3) パラオ集落の担い手の法人化の進捗状況について  
(4) その他

7. 協議結果を取りまとめた年月日 平成 27 年 6 月 8 日（月）
8. 会議の内容

- ・ 柏市農政課職員の紹介
- ・ 前回、パラオ地区で行われた集落座談会でパラオ地区の農地がほぼ柏市に所在していることから、柏市と跨いだ人・農地プラン作成を検討していくことを説明した。
- ・ 柏市で作成されている北部地区の人・農地プランを見直す必要があることを説明した。
- ・ パラオ地区で集落営農組織を作り法人化することへ集落内で合意することへの進捗状況の確認を行った。

農政課の説明と問題提起を受けた後の主な質疑応答は次のとおり。

我孫子市農政課：前回での集落座談会では集積された農地を集落の若手でチームを組んで担っていくという話でしたが、その後の進捗状況はどうなっているか。

農業者：まだ話し合っていない。

我孫子市農政課：では集落内で法人化していくという前提で一応話を進めていく。パラオ集落の農地は柏市の人・農地プラン区域としては柏市の北部地域となるが、今後集落営農法人化していく過程で北部地域の人・農地プランを区分けするのにどういう手続きが必要か柏市から説明をお願いしたい。

柏市農政課：北部地域を地区割りすることはまだ決定していない。農家へ投げかけているところだ。しかし、現在のところ返事もない。パラオ地区のところだけ切り離すのもあるが、もともと北部地区の区分けの要望が出ているのでそれに合わせて行いたい。

さらに、パラオ地区の農地以外のまばらな所を交換してプランを設定するのか。区分け部分で集落以外の農地所有者にプランの合意をとるのか。その辺も話を詰める必要がある。

我孫子市農政課：柏市の農家については柏市でパラオ集落というものがあるのか。

農業者：集落はない。住所が柏市であって、利根土地改良区の活動としてはパラオとして我孫子、柏が一緒になっている。行政としてのつながりはない。

我孫子市農政課：柏市の集落座談会にパラオ地区の農業者が出席することは可能なのか。

柏市農政課：可能である。

我孫子市農政課：前回の話の中でパラオ地区の農地は集落の若い人間にチームを組んで耕作してもらい、集積して農地中間管理事業の協力金を活用して経営を行っていくに話していたと思うが、そうすると柏市の人・農地プランに位置付けてもらう必要がある。その辺の進捗状況がまだということだが、協力金をもらうには区域を決めなければいけない。そのときは柏市の北部地域の人・農地プランの中で意見を出し、地域の合意が図られなければいけない。

農業者：農地が転々としているところもあるが。

我孫子市農政課：交換をして集積しても構わないし、所有者・耕作者の合意があればそのままでも構わない

農業者：仮に開いている農地の耕作者もパラオ集落のチームに加えることもできるのか。

我孫子市農政課：問題ない。そのチームを我孫子市と柏市の両人・農地プランに位置づけしてもらう。

農業者：若手といっても人数が少ない。周辺の集落の人を誘っても大丈夫なのか。

我孫子市農政課：それも問題ない。

農業者：まずは農業をやれる人を探すことが先決だ。

農業者：東北の方では大規模にやられている農家もいるが、経営が困難になっているケースもある。

農業者：話を進めていくのに面積は関係ないのか。

我孫子市農政課：機構の協力金については面積要件がある。

農業者：田はいいけど畑は人手がないと難しい。

我孫子市農政課：協力金の種類に経営転換協力金がある。複合経営のうち、田だけ貸し出す方法もある。集積へのきっかけになっていただければと思う。

農業者：私はここに来るにあたり、前もって集落で話し合っておけばよかったと思う。

農業者：私は以前から有機農業に取り組んでいる。畑で生き残る道があるのではないのか。

農業者：法人化になると経費の扱いはどうなるのか。会計報告等を出す必要になるのか。

柏市農政課：作業は個々でやると思われる。それは構わないが、結果的にはできたものを一回組合で集めて、そこから給与を面積等の割合で支給というやり方になると思われる。機械も法人所有のものも出てくる。

農業者：それは非常に厳しい。

柏市農政課：遅かれ早かれそういう事態は迫ってくる。それを事前に話し合い、どのように今後を展開していくかを企画していくのが人・農地プランである。

我孫子市農政課：行政の関係で申し訳ないが、人・農地プランはそれぞれの市で作成することにはなる。

農業者：仮に市内の新規就農者には託せるのか。我孫子市での就農者の状況はどうなのか。

我孫子市農政課：我孫子市での就農者は県内でも多い方だが田を耕作している方はいない。全員が畑のみである。

農業者：課題が山積みだ。法人化にしても機械整備にしてもまずは若い耕作手を探すことが先決である。言っていることはわかるけど今すぐには難しい。現実的には目の前の問題として起こらないとできない。

農業者：まずは我々が話し合いを煮詰めないと進まない。月一くらいで話し合いの場を設けて、まとまってきたらまた連絡することでどうだろうか。

我孫子市農政課：了解した。